

## 2023(R5)年度 事業計画書

### 1. 事業計画の基本方針

NPO法人化から5年が経過し、新型コロナウイルス感染症の影響も受けた会員数減少と共に、会員相互の協力で実施可能な事業も変化してきました。

設立時の定款事業を見直します。現会員のニーズにマッチした事業に重点を置くと共に、当会設立の原点である「アイデアで人々を豊かにする」「個人アイデアを事業者に繋ぎ産業発展に寄与する」ことを目指します。

①この数年参加を見合わせていたフリーマーケットなどの「対外的販売会」に出店します。会員が自身の作品の価格を自身で決め販売し評価を知る。その中でさらなる改善点を見つけ努力する。そういった場所の提供を行います。②希望者に、ホームページ上に販売用ページを設け、直接販売を目指します。

会としても、これまでの「特定非営利活動に係る事業」に加え、財務基盤を強化する観点からも「その他の事業」として「発明品の販売」による収益事業等を開始します。

2022年度に引き続き、①「新規入会勧奨策」に重きを置きます。2022年度に出来なかった横浜市の「後援」取付けに引き続き取組みます。②市役所担当課や県内工業会等を通じ会員の発明作品を企業・事業者に紹介する方策を開拓し、製品化チャンスの増加を目指します。

### 2. 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

No.	定款改定後の事業名	事業内容		実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲	支出見込額(円)	詳細・補足・課題
		中項目							
1	①発明・考案教室の開催事業	「日曜発明サロン」開催		毎月第2日曜日	リアル開催：なにか区民活動センター等中区周辺の会議室 オンライン・ハイブリッド開催：ZOOM	理事等3～5名	会員および見学参加者、非会員スポット参加者	会場費等 38,000	①休会を回避し、発明活動の停滞回避。オンライン参加も可能とする対応を継続。 ②第1部作品発表時に議論活性化のため、類似先願を確認し、情報を提供します。 ③「特許・意匠登録」の法律、最新知識、情報提供。 ④他の発明団体や企業担当者の講演など。 ⑤発明ポイントの拡大。
集合型開催		ZOOM契約 12,000							
オンライン開催		外部講師 4回 50,116							
第1部作品発表：類似先願の確認・情報提供									
第2部研究会：テーマの多様化、外部講師講演・講習									
	発明ポイントによる発明奨励・懸賞						40,000		
2	②発明・考案品の公開・発信事業(展示会発表、WEB公開等)	ホームページ(対外)による発信		随時	ホームページ	理事等2～3名	世界の閲覧者	サーバー代等 6,400	広い層にアイデア創出の楽しさ、便利さを発信します。 掲載を希望する会員の発明品紹介 新規性喪失防止とアイデア流出防止の観点から2年以上経過分を掲載。 会員が街で見つけたアイデア商品・グッズ紹介コーナー
①活動PR入会勧奨		(補足) 約 8,000円の内、1/4を その他の事業で計上							
②会員発明品紹介									
③「ハマ発明ニュース」バックナンバー公開									
	④「こんなものを見つけました」コーナー開設								
3	「ハマ発明ニュース」寄贈	「ハマ発明ニュース」寄贈		毎月	図書館1、市役所担当課・外郭組2、社団1、公財1 計5	理事1名	図書館利用者および公的機関を利用する中小企業	印刷・郵送 25,000	40年以上継続 横浜中央図書館、県立川崎図書館 横浜市経済局ものづくり支援課、(一社)神奈川発明協会、横浜市工業技術支援センター、(公財)横浜企業経営支援財団 IDEC
	図書館寄贈	公的機関へ送付							
4	③発明・考案創出を促進する事業(見学会、過去の事例閲覧提供、他の発明団体等との交流等)	個人会員増加策の実施		日常	ホームページおよび公的施設にチラシ設置	理事および会員	一般市民	公的施設へのチラシ設置 50,000	「アイデアを形にしたい方」「作品を発表し意見を知りたい方」に対する入会勧奨
5	例閲覧提供、他の発明団体等との交流等)	個別テーマ勉強会		希望により	リアル、オンラインなど	1～2名	参加希望者	0	勉強会を希望する会員に、グループ勉強会開催の支援(告知、セルテ使用、ZOOM利用等)を行います。
6		見学会開催		随時	県内など	1～2名	参加希望者	0	工場、工房、展示会等への見学会開催
7	会員への情報提供の継続・強化		毎月末	ホームページ：会員専用ページ	理事等2～3名	会員	サーバー代等(上記2の一部)	①会員専用ページを、新規会員を含む会員にとって「生涯学習の場」「実務のナビゲーションの場」となるよう充実を図る。	

No.	定款改定後の事業名	事業内容		実施 予定 日時	実施 予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者 の範囲	支出見込額 (円)	詳細・補足・課題
		中項目							
			「ハマ発明ニュース」提供 発明遺産バックナンバー閲覧 提供 明細書用語検索機能開発	随時				0	②展示会・イベント情報の提供 ③発明遺産「アイデアブック」「ハマ発明ニュース」のPDFデータを会員専用ページで閲覧可能とする。 ④明細用語集の検索機能開発を継続
8		他の発明団体等との交流 「ハマ発明ニュース」提供		毎月	各団体 計4	理事 1～3名	全国の発明 団体	印刷・郵送 1,000	(一社)発明学会、(一社)婦人発明家協会、川崎発明振興会、NPO発明商品化
9	④発明・考案の相談・助言事業（試作品製作助言、先行文献調査助言、特許出願等知財専門家紹介等）	発明・考案の相談・助言事業 試作品の製作助言・仲介 作品のモニター実施。 先行技術文献の調査・検索助言 特許出願等知財権利化・知財係争時の専門家紹介 製品化クラウドファンディング活用		随時 受付	事務所や各種工房やラボ等	会員の相互協力	会員及びホームページ閲覧者	試作支援等 2,000	・アイデアを形にする方法（試作）や手段、またその手配に関する助言や仲介 ・作品のモニターを簡便に行えるように、会員相互が協力する仕組みを構築します。 ・弁理士、INPIT知財総合支援窓口との連携を強化
10	⑤国内事業者への発明・考案品紹介事業	発明・考案品の紹介事業 法人会員、協賛法人増加策		工業会等、団体からの許可を得次第	DMおよび工業会等の会報へのチラシ同封依頼	理事 1～3名	会員、企業	30,000	ダイレクトメール（ネット、郵送等）自前での開発力に乏しいなど様々な事情により、新商品を求める法人・企業への情報提供を市役所担当課や県内工業会等と連携
11	⑥発明・考案品の試験的販売の実施、及び、購入者評価の把握事業	発明・考案品の展示発表（対外的） GIBUN 手づくり市 「ハローよこはま 2023」なか区民活動まつり		4/15 11月初旬	横浜市内	約10名	市民等来場者	県内など 120,000	「②発明・考案品の公開・発信事業」の位置づけも兼ね、イベントに出店します。 状況に応じて、他の開催イベントへの参加も検討します。
12	⑦「出前講座」実施事業（自治体、学校、各種団体等）	出前講座の実施 受託講座		随時	県内	1～3 名/回	市民・学生 10～30名/回	3,000	依頼に基づき出前講座を行う。「発明・考案の楽しさや可能性を啓蒙する。」

(2) その他の事業

No.	定款改定後の事業名	事業内容		実施 予定 日時	実施 予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者 の範囲	支出見込額 (円)	詳細・補足・課題
		中項目							
1	(運営のあり方)	事務所のあり方検討、移転方針の検討	移転に伴う財政への影響開示。会費に関する意見集約	随時	横浜市内	理事	会員及び来訪者	0	関内駅前再開発計画に伴うセルテ退去期限2025年3月末。市民共同オフィス内の他テナントと同調した移転、個別移転、事務機能のクラウド化、当会が主テナントとなりシェアオフィス事業を行う等、複合的に検討し、令和6年度上半期を目標時期とする。
2	② 事務所スペース・機能等の賃貸事業（再賃貸収入）	シェアオフィス運営		令和6年度上期	横浜市内	2	利用する入居者・利用者	0	
3	①発明・考案品の販売事業（ネット利用等による代理販売・仲介事業）	当会名のネットショップ開設の可能性検討		令和5年度下半期	当会HP上	2	会員及び個人発明家	1,600	納税対応等を含め準備を進める。当会ホームページ上にて利用するとして、サーバーとドメイン代の20%をその他の事業分として見込む。

【補足】支出見込額としては、他に特定非営利活動全般を行う上で必要となる「特定非営利活動に係るその他費用（事務所家賃の内の特定非営利活動割合部分170,000円、旅費交通費1,000円、その他10,000円）」181,000円を見込んでいます。